

9月定例会号

No.46 | 令和元年[2019]  
11月10日発行(年4回発行)

主な記事

- 2~3面 令和元年9月定例会の概要  
4面 議会活動の紹介  
県議会からのお知らせ

# わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

## クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で  
「図書カード」を10名様に  
プレゼント!!

Q 本県で国民文化祭などが行われる令和3年は、和歌山県誕生〇〇〇年の年です。  
「〇〇〇」に入るは何でしょう。  
ヒント: 2~3面を読んでね!!  
応募方法: 4面をご覧ください。



総務委員会では、9月24日と10月2日に和歌山市や紀の川市において調査を行いました。和歌山市では、政府機能の地方移転の一環として開設され、統計業務の最先端である「データ利活用センター」に関する業務を行う「統計データ利活用センター」と併設の「県データ利活用推進センター」で調査を行い、統計業務の重要性等について説明を受けました。また、公益財団法人和歌山県人権啓発センターにおいては、各種人権施策の現状や課題について調査を行いました。



近畿大学生物理工学部における調査の様子



統計データ利活用センターにおける調査の様子

## 総務委員会

6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します。

# 常任委員会活動リポート

## 建設委員会

建設委員会では、県当局とともに、道路、河川、港湾等の社会基盤整備や、大規模災害に備えた減災・防災対策に取り組んでおり、施設の整備状況等を把握して県政に反映させるため、8月1日から2日にかけて県や国の道路工事、県の災害復旧工事、市街地再開発の建設工事等について調査を行いました。



(仮称)新紀見トンネルにおける調査の様子

道路関係では、国道371号の(仮称)新紀見トンネルと石仮バイパス、国道370号阪井バイパス、国道42号の有田海南道路・冷水拡幅、同すさみ串本道路の各事業・工事について、災害対策関係では、和歌山下津港災害对策等緊急事業(雜賀崎金属団地)について、再開発関係では、和歌山市駅前地区第一種市街地再開発事業について、このほか南紀白浜空港の民間運営について、現地調査を行いました。

建設委員会としては、今後も安全で豊かな県土づくりに取り組んでいきます。



すさみ串本道路における調査の様子

経済警察委員会では、10月8日に県内調査を行いました。

まず、上富田町の丸編み生地メーカーである株式会社ヤマヨテクスタイルでは、事業の概要とともに、長年本県で事業展開してきた中でのメリット・デメリットなど、現場の生の声をお聞きし、意見交換を行いました。



(株)ヤマヨテクスタイルにおける調査の様子

## 経済警察委員会



県警察航空隊における調査の様子

県警察航空隊では、留置施設の設備や運用状況について、また、警察官の装備品や映像射撃シミュレーター装置を用いた射撃訓練の実際について調査を行いました。

経済警察委員会では、今後も、本県経済の振興に大きな役割を果たす中小企業の振興、また、県民の安全安心の実現のため、全力で取り組んでいきます。

# 9月定例会の概要

会期 9月10日から9月27日までの18日間

## 会期中の主な動き

### 特別委員会の設置

- 9月27日…決算特別委員会を設置し、委員を選任

### 特別委員会の開催

- 9月19日…人権・少子高齢化問題等対策特別委員会
- 9月27日…決算特別委員会

### 一般質問議員 16人

9月17日(火)

9月18日(水)

鈴木 太雄  
多田 純一  
高田 由一  
中西 徹

秋月 史成  
片桐 章浩  
岩田 弘彦  
林 隆一

9月19日(木)

9月20日(金)

川畠 哲哉  
藤本 真利子  
玉木 久登  
鈴木 徳久

中西 峰雄  
浦口 高典  
楠本 文郎  
山下 直也

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和元年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(〃)	21件	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件(〃)	2件	平成30年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件(〃)	8件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	同意
その他案件(〃)	8件	令和元年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書・決議	4件	統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議	可決
		国土強靭化及び地方創生に資する社会資本整備の推進を求める意見書	可決
		高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	否決
		水産業の体质強化を求める意見書	否決

主な質問とこれに対する答弁は次のとおりです。(要約)

答 本県の候補地である和歌山マリーナシティは、全域造成済みでインフラも整備

問 横浜市が誘致を正式に発表したことでの競争が激しくなったが、知事のIR誘致に向けた意気込みはどうか。

### 統合型リゾート(IR)

ワークーション：ワーク（働く）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、日常と違った環境で休暇を楽しみながら仕事を行うこと

方改革は、労働・残業時間の縮減だけでは不十分で、ワークーションを通じて革新的な仕事のあり方を見つけてもらうことが一つの解となります。本県から全国に向け、そういう可能性を示していきます。

答 県は、平成29年度から全国の自治体に先駆けてワークーションを提唱し、東京都内でフォーラムを開催するなど、首都圏の企業等に働きかけてきました。これにより現在では多くの企業がワークーションを採用し始めました。県庁でもワークーション制度を設けていますが、働き

て企業が田辺・白浜地域に進出しているが、本県としてのワークーションへの取組はどうか。

問 テレワークに取り組む企業が田辺・白浜地域に進出しているが、本県としてのワークーションへの取組はどうか。

### ワークーションへの取組

答 紀伊半島大水害における斜面崩壊が発生し、県道田辺龍神線が通行止めとなっているが、この道の通行はできなか

問 田辺市上秋津で大規模な斜面崩壊が発生し、県道田辺龍神線が通行止めとなっているが、この道の通行はできなか

### 田辺市上秋津での斜面崩壊

答 昨今の社会経済情勢や船舶の大型化、クルーズ船の寄港など、和歌山下津港を取り巻く環境は大きく変化していることから港湾計画の見直しが必要であると考えます。周辺環境の調査や船舶の航行安全検討などをを行い、その結果を踏まえ、旅客船ターミナルの設置が可能となるような配置も盛り込んだ港湾計画の改訂を行っていきます。

答 貨物港などとして役割を果たしてきた和歌山下津港について、客船ターミナル整備など今後の港湾計画はどうか。

### クルーズ船寄港への取組

答 取組

問 国道311号滝尻地内の

健康づくり運動ポイント事業：毎日のウォーキングや自治会活動などを.ImageAlign

が直ちに道路に達する可能性

が少ないと判断し、土石流感

知センサーによる監視と雨量等の通行止め基準を設けたう

としました。上秋津地内では、斜面が再度崩壊すると、道路に大きな岩が直ちに達するおそれがあり現道での安全な通行の確保は困難であると判断されました。右会津川を渡る仮設道路を設置し、安全な通行の確保に取り組んでいきます。

され、関空に至近で関西の主要観光地へのアクセスもよいなど、非常に優位性があるとの自信を持っていますが、それが過信にならないよう、地域振興に大きく貢献し、国の観光立国政策に資する優れた区域整備計画を作成して、正々堂々と競争していきます。

か。

問 健康づくり運動ポイント事業の進捗状況と8万人登録の達成時期についてどう

### 健康長寿日本一わかやまの実現

答 登録者数は9月2日現在で6603人と目標にはまだまだ遠い状況のため、毎日のウォーキングで貯まったポイントを、日常生活で活用できる特典に引き替えられるような仕組みづくりなど、登録への意欲を促すインセンティブの導入を検討しています。今後、市町村や民間事業者などとともに、さらなる気運の醸成を図りながら、目標の登録者数を達成できるよう誠心誠意取り組んでいきます。

が少ないと判断し、土石流感知センサーによる監視と雨量等の通行止め基準を設けたうとしました。上秋津地内では、斜面が再度崩壊すると、道路に大きな岩が直ちに達するおそれがあり現道での安全な通行の確保は困難であると判断されました。右会津川を渡る仮設道路を設置し、安全な通行の確保に取り組んでいきます。

## 第5世代移動通信システム(5G)

問 本県がいち早く5Gを整備できれば、「先行者メリット」が本県の発展に大きく貢献すると考えるが、どうか。

答 ドコモ等の全国キャリアが整備する全国展開の5Gについては、本県では遠隔医療の分野において、平成29年度からNTTドコモと共同で実証試験を行っています。ローカル5Gは、国において法制度化を検討中ですが、導入に前向きな県内企業が有効に活用できるよう、国への働きかけや周知を図り、県内整備を促進したいと考えています。



### 有田みかん産地継承の取組

問 有田地方のみかん畑は、未来に向けて残していく財産だと強く感じているが、県としてどう取り組むのか。

答 県では、厳選したみかんの出荷や優良品種への改植、マルチ栽培、首都圏での販売促進などにも積極的に取り組んでおり、平成29年産みかんでは、生産量、産出額とも日本一となり、単価では愛媛県を抜き第4位に上昇するなど、みかん産地が活性化したと考えています。今後も、生産対策や販売促進に加え、担い手育成や農地対策などに総合的に取り組み、産地の活性化を図っていきます。

### 在留外国人への支援体制

問 本県在留ベトナム人などに対し、暮らしにおける悩み相談等を含めた支援体制は、どのようにになっているのか。

答 県国際交流センターに外

問 フラワーデモについての考え方や性暴力被害者に対する支援はどうか。

答 フラワーデモについては、無罪判決への抗議や性暴力は許さないという声が、ネット上で自然発的に大きくなり、今年の4月に東京でデモが開催され、その後毎月11日には全国各地で賛同する人々が集いデモが開催されるなど、全国的に大きな広がりを見せていました。県の性暴力



### 和歌山県の災害見舞金制度について

問 県単独の災害見舞金制度とは、どのようなものか。

答 また、見舞金を充実させる考

えはあるのか。

答 災害見舞金制度は、昭和42年に創設し、現在、住

家の被害で全壊が1万円、半壊と床上浸水が5千円、人的

被害で死亡と行方不明が5万円、重傷が5千円となっています。本県の見舞金制度は、

被災者を幅広く対象としており、今後も引き続き現行制度

の中で実施していきます。

問 水道法の改正により、県は水道事業者間の広域的な連携を推進するよう努めることがとなつたが、主導的役割をどう果たすのか。

答 6月に策定した「和歌山県水道ビジョン」で、主な河川の流域圏や生活圏を考慮して5つの圏域を設定し、地域の実情に応じた多様な広域連携を段階的に進めるため、各市町村を訪問して、本県水道の基盤強化に向けた取組における広域連携の必要性や重要性に理解を求めてきたところです。今後、リーダーシップを發揮して、水道事業の広域化に向けて取り組んでいきます。

問 水道法の改正により、県は水道事業者間の広域的な連携を推進するよう努めることがとなつたが、主導的役割をどう果たすのか。

答 公立学校のトイレの洋式化率は、昨年度末で4割弱となっています。国において、令和2年度までの国土強靭化の予算により、災害時の避難所となる学校のトイレ整備が可能となりました。先般、各市町村に働きかけ、文部科学省に予算配分を追加申請した結果、これが認められ、現

在この予算を活用し、各市町村において整備を進めているところであります。

問 県政150年を迎える令和3年において記念事業を行うのか。

答 和歌山県誕生150年の年には、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭、ワールドマスターーズゲームズが開催されます。県民が本県の歴史や文化を振り返り、「ふるさと和歌山」を愛し、誇りをもつて、未来に向かつて歩みを進めるきっかけとなるような記念行事の実施について、検討を進めています。

## 和歌山県水道ビジョンの策定

## 県内公立学校のトイレ整備

## 和歌山県誕生150年

## 紀の国森づくり税と森林環境譲与税

問 本県がいち早く5Gを整備できれば、「先行者メリット」が本県の発展に大きく貢献すると考えるが、どうか。

答 被害者に対する支援としては、平成25年、県立医科大学附属病院の中に性暴力救援センター和歌山（わかやまmin）を開設し、女性支援員が相談に対応するとともに、相談内容に応じて、医療機関や県弁護士会などと連携し、緊急医療や法律相談、カウンセリング等を行っています。

問 6月に策定した「和歌山県水道ビジョン」で、主な河川の流域圏や生活圏を考慮して5つの圏域を設定し、地域の実情に応じた多様な広域連携を段階的に進めるため、各市町村を訪問して、本県水道の基盤強化に向けた取組における広域連携の必要性や重要性に理解を求めてきたところです。今後、リーダーシップを發揮して、水道事業の広域化に向けて取り組んでいきます。

問 学校のトイレ環境を充実させることは、学力向上の一端を担うと考えるが、トイレ整備の現状と今後の取組についてどうか。

答 公立学校のトイレの洋式化率は、昨年度末で4割弱となっています。国において、令和2年度までの国土強靭化の予算により、災害時の避難所となる学校のトイレ整備が可能となりました。先般、各市町村に働きかけ、文部科学省に予算配分を追加申請した結果、これが認められ、現

在この予算を活用し、各市町村において整備を進めているところであります。

問 両税の使途の「住み分け」はどうか。

答 村が行う人工林の間伐や公共施設での木材利用などに活用しています。一方、紀の国森づくり税は、小中学生を取り組む施策に加え、県が実施する防災上必要な周辺集落の森林整備や国の制度対象者の間伐への助成に活用し、さらには、県内の団体等が自ら企画実施する、里山を再生するための広葉樹の植栽、森林の機能を学ぶ間伐や木工体験などの公募事業への補助に活用するなど、2つの税の住み分けを行っています。

問 県政150年を迎える令和3年において記念事業を行うのか。

答 和歌山県誕生150年の年には、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭、ワールドマスターーズゲームズが開催されます。県民が本県の歴史や文化を振り返り、「ふるさと和歌山」を愛し、誇りをもつて、未来に向かつて歩みを進めるきっかけとなるような記念行事の実施について、検討を進めています。

問 県政150年を迎える令和3年において記念事業を行うのか。

答 森林環境譲与税は、市町村が行う人工林の間伐や公共施設での木材利用などに活用しています。一方、紀の国森づくり税は、小中学生を取り組む施策に加え、県が実施する防災上必要な周辺集落の森林整備や国の制度対象者の間伐への助成に活用し、さらには、県内の団体等が自ら企画実施する、里山を再生するための広葉樹の植栽、森林の機能を学ぶ間伐や木工体験などの公募事業への補助に活用するなど、2つの税の住み分けを行っています。

問 両税の使途の「住み分け」はどうか。

答 村が行う人工林の間伐や公共施設での木材利用などに活用しています。一方、紀の国森づくり税は、小中学生を取り組む施策に加え、県が実施する防災上必要な周辺集落の森林整備や国の制度対象者の間伐への助成に活用し、さらには、県内の団体等が自ら企画実施する、里山を再生するための広葉樹の植栽、森林の機能を学ぶ間伐や木工体験などの公募事業への補助に活用するなど、2つの税の住み分けを行っています。

問 両税の使途の「住み分け」はどうか。

答 村が行う人工林の間伐や公共施設での木材利用などに活用しています。一方、紀の国森づくり税は、小中学生を取り組む施策に加え、県が実施する防災上必要な周辺集落の森林整備や国の制度対象者の間伐への助成に活用し、さらには、県内の団体等が自ら企画実施する、里山を再生するための広葉樹の植栽、森林の機能を学ぶ間伐や木工体験などの公募事業への補助に活用するなど、2つの税の住み分けを行っています。

## Topics

## 議会活動の紹介

### 近畿2府8県議会議長会議

8月27日、和歌山・京都・大阪・兵庫・奈良・滋賀・三重・福井・徳島・鳥取の2府8県の県議会議長・副議長が円滑な議会運営と地方行政の推進について情報交換を行う近畿2府8県議会議長会議が福井県福井市で開催され、本県から岸本健議長と森礼子副議長が出席しました。



会議には計15件の議案の提出があり、

本県からは、南海トラフ地震災害に備えた

公共インフラ整備や、津波災害警戒区域等の

空き家対策の強化に必要な予算確保等を国に

対し強く求める「南海トラフ地震などに備えた

国土強靭化を進める社会資本整備等」を議案と

して提出しました。

すべての議案は異議なく原案のとおり決定

され、それらは近畿2府8県議会議長会の議

決要望事項として、開催県である福井県が代

表して国に対し要望活動を行いました。



### 関西広域連合議会8月定例会

8月29日、関西広域

連合議会8月定例会が

堺市議会本会議場(大

阪府堺市)で開催され、

本県議会からは、井出

益弘議員、岩田弘彦議

員、浦口高典議員、奥

村規子議員の4名が出

席しました。

本会議においては、浦口高典議員が、「人口減少地域における地方分権のあり方」「健康長寿世界一KANSAI(関西)」について質問しました。

特に、「健康長寿」については、滋賀県や奈良県のように先進的に取り組んでいる地域がある一方、

構成府県市によって平均寿命の数値や健康寿命の延伸に向けた取組に格差があることを指摘し、「構

成府県市がお互いの知恵と実践の成果を共有しないか」とただしました。さらに、「2025年に

開催される大阪・関西万博では、「健康長寿世界一KANSAI」を掲げ、関西が得意とする先端医療技術の発信とともに、関西に暮らす住民が皆健康

で長生きであることをアピールするためのパビリオンを出展してはどうか」と提言しました。

本質に対し、飯泉委員(徳島県知事)から、「健

康寿命の延伸に向け、各構成府県市においてそれ

ところであるが、広域連合管内でのより緊密した情報共有が重要であると認識している。各構成府

県市によっては、新たな手法を活用した様々な取

組が展開されており、今後とも取組例や成功例に

ついて、「いいところどり」をしながら、関西2千

万府民・県民の皆様方の健康長寿をしっかりと目

指していく」と答弁がありました。また、2025

年大阪・関西万博については、「関西全体で万博を

盛り上げるといった観点から、構成府県市でのパ

ビリオンについて検討していくこととしている」と

し、「まずは、関西に暮らす住民が「健康」で「長生き」ができることを目指すことが何よりも大切であり、

関西広域連合としても、優良事例の共有による、構成府県市における健康づくり事業のブランチアップを支援していくことによって、元気で活力ある関西の実現にしっかりとつなげていくとの答



浦口 高典 議員

## Information

### 県議会からのお知らせ

#### テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

##### テレビ テレビ和歌山(WTV)

##### 県議会だより(予定)

開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送  
(12月定例会の放送 12/3、10~13、19)

##### 県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送  
(12月定例会の放送 12/26)

##### ラジオ 和歌山放送(WBS)

##### 県議会ダイジェスト(予定)

開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(12月定例会の放送 12/3、10~13、19)

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

#### 県議会ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/>

#### 和歌山県議会

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

#### 「点字版・CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

クイズ&  
プレゼント  
応募方法

ハガキへ、①クイズの答え(○○○○)、②住所、  
③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会  
だより」のご感想を記入のうえ、**11月29日(金)**  
**〔消印有効〕**までにご応募ください。

#### 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 令和元年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 3日(火)
本会議(質問)	12月10日(火)~13日(金)
常任委員会	12月16日(月)・17日(火)
本会議	12月18日(水)・19日(木)

※手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〒640-8585(住所不要)

県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。